

わた毛ができるころの たんぽぽのちえを とらえよう。

一、たんぽぽの

「ちえ」

が 書いてある ところは

青で、

「わけ」

が 書いてある ところは

赤で

かこみましよう。

この ころに なると、それまで たおれて

いた 花の じくが、また おき上がります。

そうして、せのびを

するように、ぐんぐん のびて

いきます。

なぜ、こんな ことを するのでしょうか。それは

せいを 高く する ほうが、わた毛に 風が よく

あたて、たねを とおくまで とばす ことができ

るからです。



二、左の しかくに

「ちえ」と

「わけ」を

書きましよう。

ちえ1

ちえ2

わけ1

文の せいごのことは、ちえやわけを 見 けられた。(○△×)
おも た こと

よく晴れて風のある日としめり気の多い日や雨ふりの日のたんぽぽのちえをとらえよう。

一、たんぽぽの「ちえ」が書いてあるところは青で、

「わけ」が書いてあるところは赤でかこみましょう。

よく晴れて風のある日にはわた毛のらか
さんはっぱいにひらいてとおくまでとんで
いきます。

でもしめり気の多い日や雨ふり

の日にはわた毛のらかさんは
すぼんでしまします。それはわた毛が
しめておもくになるとたねをとおく
までとばすことができないからです。

(よく晴れて風のある日)



(



)日)

二、左のしかくに「ちえ」と「わけ」を書きましょう。

ちえ1

ちえ2

わけ1

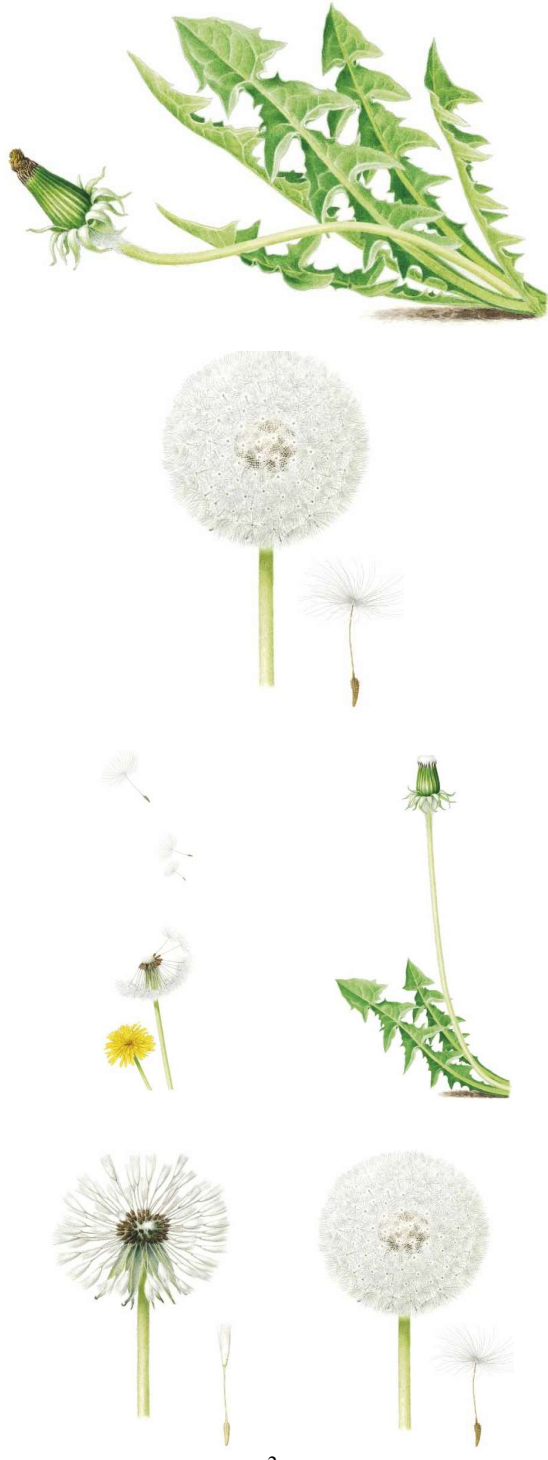
文のさいごのことばを、ちえやわけを見けられた。(○△×)
おもたこと

たんぽぽのちえについて まとめよう。

一、たんぽぽの 「わけ」 が 書いてある ところは 赤で かこみましょう。

このように たんぽぽはいろいろな
ちえを はたらかせています。そうして
あちらこちらに たねを ちらして あた
らしい なかまを ふやして いくのです。

二、たんぽぽが いろいろなちえを はたらかせるのは なんのためですか。



わけ

文の さいごのことばで わけを 見られた（ ○ △ ×
おもたこと